

# 鵜戸

UDO JINGU



## 伝説の「飴売女」

vol. 94

紀元 2682年  
令和4年 7.1

### 頑張れ 「広島東洋カープ」



コロナ禍のなか、今年もプロ野球が開幕して三カ月が経ちました。二年前は無観客試合で、昨年も人数制限がかかるなかでのペナントレースでしたが、今年はそれらの制約も解かれ、大勢の観客が見守るなかで熱戦が繰り広げられていきます。

ところで、広島東洋カープをこのコラムで採りあげたのは、日南市で毎年春季キャンプを張つてゐるからです。昭和三十八年から始められたさうで、今年は六十年の節目にあたります。そして何よりも、キャンプ期間中には恒例の必勝祈願のため参拝に来て下さるからです。この必勝祈願が始められたのは昭和四十八年で、『鵜戸神宮日誌』の二月一日付には、「広島東洋カープ西野常務別当監督外五十

三名」とあります。当時は選手や監督以下スタッフ全員でのお参りでした。現在は監督他代表者参拝に変更りましたが、今年も佐々岡真司監督やエースの大瀬良大地選手などがお参りしました。ご本殿前には、選手のサインを書いた「必勝祈願絵馬」を一年間飾つてゐます。

もちろん鵜戸神宮名物の運玉投げもしていただきます。運玉を男性は左手で投げ入れますが、さすがにプロ野球選手は逆手で投げて球筋が安定してゐます。広島県の地元テレビ局などの取材やカープファンも少なくありませんが、亀石の窪みに入るたびに歓声があがります。

日南市の行政や市民も熱心に応援してゐます。JR油津駅をカープカラーの赤い駅舎に、キャンプを

張る天福球場へと続く「カープ一本道」を赤く染めるなど、日南市の風物詩にもなつてゐます。「広島東洋カープ日南協力会」会長は日南市長が務め、鵜戸神宮も会員です。毎年、協力ががツアーを組んで広島球場まで応援に出かけてをり、神社からも参加してゐます。コロナ禍でここ三年実施されておませんが、収束した暁には私も参加して声援を送りたいです。

「宮司はいつから広島東洋カープのファンになったのか？」といふ疑惑はさておき、これも八百万の神々をお祀りする神道の寛容さをご理解いただければ幸いです。かつて野球少年であつた一人として、今年も活躍を期待しながら応援する日々です。

(宮司・黒岩昭彦)



# 伝説の「飴売女」

鶴戸神宮宮司 黒岩 昭彦



「飴売女」 作画：鶴戸神宮権禰宜 瀧田賢二

## 飴

肥藩最後の家老であった平部嶮南の『日向地誌』は、県内五郡三七六町村の沿革や地勢、戸数や産業などを網羅した記録書です。明治七年に県から編纂を委嘱されると、約八年の歳月をかけ調査し、同十七年に上梓しました。

明治十年前後の宮浦村については、戸数総計百八十四戸（士族七戸・平民百七十七戸）、人口は、男性が四百四十七口（士族十五口・平民四百三十二口）、女性が四百七十七口（士族十四口・平民四百三十三口）、総計八百六十四口と記してあります。因みに、今日の宮浦の世帯数は六十七戸で人口は百四十二名です。

また、鶴戸神宮については、「官幣小社奮称ハ鶴戸大権現ト云大政復古以来改テ鶴戸神社と称セシカ明治七年甲戌三月二十五日勅命ヲ以テ官幣小社ニ列セラレ今名ニ改ム」とあり、「吾平山上御陵」の記述も散見されます。そして「民業」として、「農業相雜リ工商相混ス専ラ漁

ヲ業トスル者五戸馬売買一戸売飴婦女百余人」とあります。

「専ラ漁ヲ業」は今でも見られますが、「売飴婦女百余人」ゝたといふ記述に目が留まりました。

## 売

「売 飴婦女」とは、いふまでもなく「飴を売る女性」のことで、一般的には「飴売女」といったさうです。その数が百余人もゝたといふから驚きです。現在でも鶴戸名物として「お乳飴」が販売されてゐますが、鶴戸神宮の信仰に照らせば、その数の多さは理解できるのではないでせうか。

ご本殿が鎮まる神窟は、ご祭神の鶴草葺不合尊のご誕生地で、母君であられる豊玉姫はここで出産されたといひます。父君の彦火々出見命（山幸彦）は、決して出産してゐるお姿を見ないといふ約束を破り、覗き見してしまつたのです。激怒さ

れた姫は綿津見宮に帰られてしまひますが、のこしてゆく我が子を不憫に思はれ、ご自分の「両乳房」を神窟に残していつたさうです。姫は育児のために妹の玉依姫を派遣されますが、妹は姉ののこした両乳房から滴り落ちる水で飴をつくり尊を育てられました。その乳房は今でも「お乳岩」として神窟内に残されてゐます。鶴戸神宮の界隈で「お乳飴」が販売され、それを舐めることで乳の出が良くなるといふ「安産」に係る信仰がある由縁です。

ここまで書いたところで、今から二千七百年も前に飴はあつたのかといふ疑問が湧いてきました。はたして、養老四年（七二〇）に撰上された『日本書紀』の「神武紀」に、鸕鷀草葺不合尊の子であられる初代の神武天皇が、大和の高尾張邑にて飴を作らしたといふ、「吾今当に八十平瓮を以て、水無しに飴を造らむ」といふ記述が見られるのです。

て、「飴売女」に話を戻します。 「売飴婦女百余人」といふ記事によつて、鶴戸さん詣での参拝者に飴を売り、繁盛してゐた明治初年の様子が浮かんでくるやうです。ただしこの飴売女は、悪く言へば押し売りともとれる強引な一面もあつたやうです。 慶応三年（一八六七）にお参りした薩摩藩の名越時敏の『鶴戸詣道の記』によれば、飴売女は八丁坂にて飴を売つてゐたやうです。五、六人で取り囲み、「飴かひ給へ〜」と押し売りしてゐたといふのです。裸足で八丁坂の階段を畳の上よりも平易に歩くほどの脚力で、風呂敷から竹皮包みの飴を取り出して売りつけたさうです。その様子を見た別の参拝者が、「淡島」（青島）よりも「ひとぜりも多く」、「殊にはげしきやう」に感じられ、「のがるゝ人独りも

の飴売女たちの風習は何時頃まで見られたのでせうか。 大正十五年に『官幣大社参詣記』を著した福井万次郎は、「社前に飴を鬻ぐ店多し、万次郎も求めて求めて孫に遣る」と記してゐます。「求めて求めて」と重ねてゐることから何ヶ所もの飴屋から声を掛けられ買つたのでせうが、この本に飴売女は出てきません。 大正十二年には日豊本線が全線開通して国内移動も容易となつてくると、飴売女の販売の遣り方は、時代風潮にそぐはなくなつたのです。やがて、八丁坂には土産物屋が立ち並び、参拝者が買ひ求めるスタイルへと変化していきました。今となつては、その姿は古のものとなり、名実ともに「伝説の飴売女」になつたのです。

# 「心を磨く文化」



参議院議員  
比例代表（全国区）選出  
自由民主党文化立国調査会長  
山谷 えり子

日本人にとって、文化は自然とともに日々の生活の中にとけ込んでいっているものですが、あたりまえすぎて大切さに気づかないことも多いものです。

日本人は、何百年と続く優美な世界をひたすら同じ様式で継承しつつ、一方では溢れる好奇心で新しい感性を取り入れ、創意工夫を重ねて日本文化を発展させてまいりました。それらは、日本人の器用で繊細で真面目な気質が、日本特有の精神文化と相俟って支え続けてきたものと考えます。四季の豊かさと花鳥風月を愛でながら、すべての国民の審美眼が磨かれていく稀有な国が日本といえるでしょう。

日本の浮世絵に大きな影響を受けたことでも知られるゴッホは、「日本芸術を研究すると、明らかに賢者であり、哲学者であり、知者である人物に出会う。その人は何をして、時を過ごしているのだろうか。地球と月との距離を研究しているのだろうか。ちがう。ビスマルクの政策を研究して

いるのだろうか。いや、ちがう。その人はただ一本の草の芽を研究しているのだ」と日本人の鋭い慧眼を称えています。

私が平成二十八年に自民党の文化立国調査会長に就任して五年が経ちました。伝統や文化を次の世代へ歴史とともに繋いでいく中継ぎ役は、大変大きな重責を担っていると、日々感じています。

まず着手したのが、後継者不足で存続が危ぶまれる伝統工芸などを「レッドリスト」として一覧化することでした。文化財の価値を損なうことなく次世代へ継承するため、修理の効果的な抜本改革もすすめました。修理期間中に、これまでただ閉鎖していたものを貴重な情報公開の場と捉え、修理現場の公開など新たな体験の場を用意し、文化財への理解を促進させ、観光振興へと結びつくようにいたしました。

また、各地で多発している災害により被害を受けた文化財の復旧対応や補助金での支援なども迅速に行えるようになりました。さらに、伝統的な文化だけでなく、現代アートやアニメ、マンガ、食やファッションなど、クールジャパンといわれる現代の文化にも着目し、「稼ぐ文化」の発想も取り入れ、海外発信などを充実させました。

オリンピックパラリンピックを契機とし、日本の文化を国内外に発信していくと『日本博』をはじめ、官民あげて活動し

ていましたが、途中、新型コロナウイルス感染症の拡大により芸術文化活動の縮小を余儀なくされました。しかしながら、人々の不安と困難が立ちほだかる中、安らぎと明日への希望を与えてくれたのも芸術文化でした。

昨秋の補正予算では、地域の伝統行事等の伝承事業予算を拡充していく決議をし、山車や用具の修理、次世代に伝え遺すための映像制作などに新規で六十五億円の予算をあて、神社や保存会の活動、文化財の修理・整備などを総合的に支援できるようにしました。

本年度からは、五年間という長期的視点で「文化財の匠プロジェクト」が始動します。これは、文化財の保護・修理に欠かせない技術者の養成や原材料の保護にむけた支援強化策で、長らく文化立国調査会で推進してきたものが結実されたものと大変感慨深く思っております。

改正教育基本法の教育目標には「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」が掲げられています。

日本の神道は感じる宗教です。感じる心を磨くには、体験や人との触れ合いが欠かせず、それらの機会を増やしていくよう今後も猛進してまいります。



AS判、総数三二六頁、ハードカバー付、四千九百五十円（税込）  
ご注文は最寄りの書店にて

## 黒岩宮司が研究書を刊行

この度、黒岩昭彦宮司の『「八紘一字」の社会思想的研究』（弘文堂）が刊行されました。

宮司は神明奉仕の傍ら、近代の神道思想史研究をはじめ郷土宮崎県にまつわる歴史民俗などの研究にとりくんでいきます。本書はその研究の成果で、折々に大学の研究紀要などに発表してきた十本の学術論文に加え、新たに二本を書き下ろして、序章終章含め十二章にまとめたものです。

ちなみに「八紘一字」とは、初代神武天皇の即位二年前に発せられた、「兼二六合一以開レ都、掩二八紘一而為レ宇」（「橿原建都の令一八紘為宇の詔」）からの造語で、近年では「侵略戦争スローガン」とされ、戦時下の暴力性を担う思想用語として厳しい目が向けられています。

宮司はこのような一面的な見方に警鐘を鳴らしています。当時の八紘一字の思想展開や使用形態を様々な角度から分析、考察しながら実証的に論じています。そして、八紘一字が必ずしも戦争美化のスローガン用語とはいえない多面性（神道的、日蓮主義的、社会思想的、地域主義的）を有していたと論じています。宮崎市の「平和の塔」（八紘之基柱）についても、その地域主義による建設背景を詳しく解き明かしています。

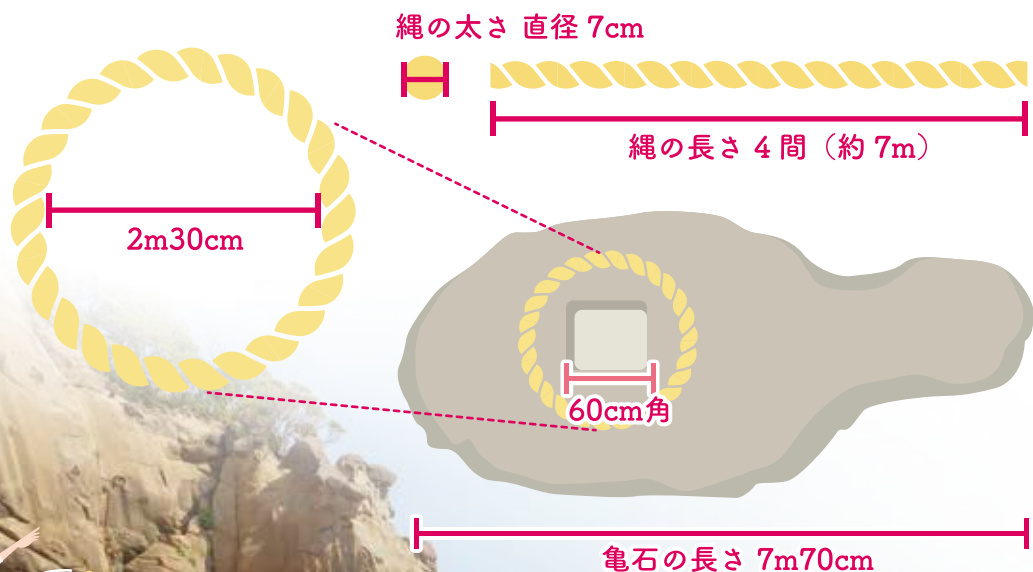
戦時下日本にあつて最も社会に影響を与えたと思われる八紘一字は、一般書の表層的な記述にとどまり、専門的な研究の対象となることはありませんでした。本書は、八紘一字を通史的に論じた初めての学術研究書です。興味のあるかたは是非ご一読ください。



かめいし  
〔 亀石 〕

『日本書紀』には、豊玉姫命とよたまひめのみことが当宮御祭神うがふきあえずのみこと鷓鴣草葺不合尊をお産みになるとき、海宮より大亀に乗って来られたと記されています。当宮では、この乗って来られた亀が今の「亀石」になったと伝えられています。

〔 亀石並びに注連縄寸法 〕



亀石までの距離  
11m50cm

〔 運玉投げ方 〕

男性は左手で、女性は右手で願い事を込めて、亀石めがけて一心に投げます。注連縄の中に当たりますと願い事が叶うと言い伝えられています。

うんだま  
「運玉」初穂料改定のお知らせ

初穂料 ~~100円(5個)~~ ▶ 200円(5個)

実施日 令和4年7月1日(金)より

鶴戸神宮の名物となっている「運玉」の初穂料を、今般、改定することとなりました。少子化に伴う「運玉」製作者の減少、物価上昇に伴う原材料の高騰など、ここ数年は自助努力でまかなってまいりましたが、コロナ禍の長期化も重なり、約40年ぶりに値上げに踏み切らざるを得ない状況となりました。まことに申し訳なく思いますが、どうか諸事情をお汲み取りいただきますなら幸いです。

運玉の歴史

- いつ頃からか定かではないが参拝者が「亀石」に、お賽銭を投げ入れるようになる。
- 昭和29年以前 — 小学生が早朝にお賽銭を拾いにいき学校に遅刻するなどの問題が起こる。
- 昭和29年 — 子どもの健全育成のために当神宮と学校関係者が知恵を出し合って現在の「運玉」が作製される。子どもが「運玉」を作り納め、当神宮は子どものための学費や修学旅行などの費用補助をする。
- 昭和43年 — 社会福祉法人つよし会、鶴戸小学校からの委託にて調製する
- 昭和59年 — 初穂料50円 → 100円に改定
- 平成22年 — 社会福祉法人つよし会、鶴戸神宮に直接「運玉」調製する
- 平成23年 — 鶴戸小学校閉校、小中一貫教育校として鶴戸小中学校創立
- 令和4年 — 初穂料100円 → 200円に改定

〔 運玉作製の様子 〕



鶴戸小中学校 親子ふれあい事業委員会



つよし会

祭典記事

# 疫病収束祈願奉納花火

令和四年一月一日午前零時に疫病収束祈願奉納花火三千発の打ち上げを行い、また、同日午前七時より歳旦祭に併せ、疫病収束祈願祭を斎行しました。

打ち上げ花火の起源は、悪疫退散とも言われ、鎮魂や復興を願う人々の祈りが込められています。そこで、新型コロナウイルス感染症の収束を祈念し、参拝者を元気づけ、新年の賑わいを取り戻すことを目的として計画したものです。

初の試みという事もあり、開催までの期間に様々な問題点がありました。費用の問題、名勝指定地という事もあり花火の打ち上げができるのか、打ち上げ時の安全の確保、警備問題などです。

費用の問題は、県内外の崇敬者、企業に協賛を依頼しました。安全面の問題は、夜間での開催となるため、警備と参道の安全確保対策として、警備員の増員、照明器具の増設を行いました。また、名勝地での花火の打ち上げに関しては特に問題ありませんでした。

各関係者との打ち合わせを繰り返し行い、対策を講じつつ、より安全に行えるよう改善し、打ち上げ当日を迎えることが出来ました。

今回の打ち上げ花火を挙行するにあたり、県内警察関係者、消防関係者のご協力を賜り、また、県内外の多くの企業、崇敬者よりご協賛に預かり、誠に感謝申し上げます。



令和三年十二月十一日以降の協賛者は次の通りです。

伍萬以上

西村みつ子

参萬以上

駒宮神社 宮司 神崎直則  
駒宮神社総代会  
本村行成

壹萬以上

米良電機産業(株)  
栗原寿美江  
後藤邦治  
宮浦神社 宮司 日高雅夫  
山宮神社 宮司 磯野弘幸  
津田酒店 津田節子  
(株)ニチワ  
(株)金城堂  
(株)日南セメント瓦工業所  
日南市漁業協同組合  
清水いみ子

伍仟以上

阿原理加  
(有)ホテル丸万  
高橋 悟  
松田邦江  
鈴木良孝

## カープ必勝祈願

令和四年二月十一日、広島東洋カープ必勝祈願祭を佐々岡監督他三名のご参列の下、斎行しました。祭典後には、一つ一つの願いを込め、運玉投げにも挑戦されました。

一昨年、昨年とコロナウイルスが蔓延していた為、春季キャンプは二軍のみでしたが、今年は一軍も二年振りにキャンプ入りし、キャンプ地日南も大いに盛り上がり上がっていました。

当神宮にも多くのカープファンが参拝され、選手たちのサインの入った必勝絵馬と記念撮影するなど境内が賑わっていました。



## 奉納奉告祭

今回、当神宮崇敬者の方々より、縮太鼓・兔の像奉納がありました。宮司をはじめ、奉納者参列の下、それぞれ厳粛に奉納奉告祭を斎行しました。ここに深甚なる感謝の意を表しますと共に、大切に使用します。なお、斎行日・奉納者は次の通りです。

縮太鼓奉納

令和三年十二月二十一日  
(株)オリンピア  
清水満雄様



兔の像

令和四年一月四日  
佐藤塗装  
堂地様ご家族



## 責任役員・氏子総代・崇敬者総代委嘱

この度任期満了に伴い、当神宮役員総代の改選があり、次の方々を選出されました。また、月初め月次祭に併せて、委嘱奉告祭を斎行しました。任期は氏子総代・崇敬者総代は、令和七年四月三十日迄です。また、責任役員は、同年五月三十一日迄となっています。

□責任役員

令和四年六月一日委嘱  
藏富英志 濱上 貢 清水満雄  
倉岡清美 長友 治 池田宗利  
後藤邦治 川瀬 静

□氏子総代

令和四年五月一日委嘱  
鬼束忠一 石村 唯 田中孝美  
鶴田三憲 吉田光利 杉原 実  
川瀬 力 長友 泰 村本 覚  
清水愛子 樋口真一 関屋 勝

□崇敬者総代

令和四年五月一日委嘱  
歌津芳秋 長友宗利 濱中武紀  
福島由二 高橋紘久 落合孝俊  
奥村幸男 上村育俊 岩切文宏  
日高 司 相川啓紀 金田 強  
石灘健次 外山栄告 門丸正憲  
伊地知久美 松田圭司 東本壽一

### お守り 交通安全

当神宮の交通安全お守りは種類を豊富に揃えており、カードタイプ、ストラップタイプ、吸盤が付いている物があります。車の内外、財布の中や鞆につけるなどさまざまな形でお持ちいただけるようになっております。ご自身に合うお好きなお守りをお選びになり、お持ちください。



### 交通安全ステッカー

車の内外どちらでも貼ることが出来ます。また、お子様の通学の安全お守りとして、鞆や自転車などにもお使いいただけます。



金属ステッカー  
初穂料 一〇〇〇円  
卵ステッカー  
初穂料 六〇〇円

### 交通安全羽織お守り

車のダッシュボードやオーディオ付近などに貼ることができます。何度も貼り直しができるところになっています。



初穂料 八〇〇円

### 交通安全ケースお守り

お守りがカードタイプになっており、好きな柄のケースと合わせてお持ちいただけます。お守りを入れるケースには、本殿や運玉、シャンシャン馬道中や当神宮の御神使でもある卵の柄が描かれています。



初穂料 八〇〇円

### お守り・お札の郵送について

当神宮では、参拝が難しい方や遠方の方でもお守りを受けられるよう郵送も行っております。ご希望の場合は社務所までご連絡ください。

### 車祓のご案内

当神宮では、車祓のご祈禱も第一駐車場にある車祓所にて常時行っています。新車を購入された際や交通安全をご祈願する際には、ぜひお祓いをお受け下さい。



その他のご祈願も御本殿にて行っています。電話、メール、ホームページからも受付しておりますので、お気軽に社務所迄ご連絡ください。

- 安産 初宮 七五三詣 厄祓
- 家内安全 身体健全 商売繁盛
- 合格祈願 海幸祭 心願成就
- 病気平癒 除災招福 神恩感謝
- 事業繁栄 社運隆昌

- 受付時間：午前九時～午後四時まで
- 祈願料：五千円から

鶺鴒神宮社務所  
Tel : 0987-29-1001  
Mail : udojingu@btvm.ne.jp  
HP : http://www.udojingu.com/

### ご朱印(紙)紹介

ご朱印は古くより参拝の証として授与されてきましたが、近年ではパワースポット巡りに併せ受けられる方も増えています。当神宮にゆかりのある「卯」がデザインされたご朱印(紙)を新たに調製しました。このご朱印は、紙のみで授与しておりますので、お求めの際には社頭授与所にお越しください。

### 卯年にむけての事業計画

来年令和五年は卯年であります。当神宮御祭神鷓鴒草葺不合尊の御神使は、古くより「卯」であると言い伝えられています。鷓鴒草葺不合尊の「鷓鴒」から「卯」になったと言われています。また、毎月初卯の日には、縁日祭を斎行しています。

卯年を迎えるにあたり、市内の記念館などで奉祝コンサートや書道展などイベントや、うさぎ関連のお守りの新調を計画しております。また、皆様に当神宮と卯の関係を広く知ってもらうため、神門前に看板を設置します。



初穂料 一〇〇〇円

令和5年はうさぎ年  
鶺鴒神宮の神様のお使いはうさぎです

おいでよ

【奉祝イベント】  
春の縁日大祭(3/25)・秋の縁日大祭(11/3)  
奉祝コンサート・文化講座・書道展など

令和5年はうさぎ年  
鶺鴒神宮の神様のお使いはうさぎです

鶺鴒へようこそ!

奉祝イベント  
春の縁日大祭(3/25)、秋の縁日大祭(11/3)  
奉祝コンサート、文化講座、書道展など

看板のイメージです。

現在計画している、事業は次の通りです。

計画段階ではありますので、詳細は次号にも記載いたします。

- 文化講演会(年に数回)
- 書道展
- 刀剣展
- 春・秋の縁日大祭奉祝行事
- 楼門絵馬作成
- その他